



みずうみにきえた村
Jean Yolen・Barbara Cooney 著 掛川恭子 訳

「わたしたちの村は みずうみに なった。」自分
分が生まれ育った場所が、別の人たちの生活のた
めに、貯水池の底に沈む。これはアメリカの少女が
体験した物語を絵本にしたものですが、私たちの
暮らし日本でも、同じようにダムの中に沈んだ土
地がたくさんあります。「洪水から人々を守るた
め、真夏の水不足を解消するため。」とダムは建設
されます。でも、そこには、すばらしい自然とゆっ
たりとしたのどかな生活がありました。シエーン
が家族や友だちと過ごした幼い日々と、貯水池に
変わりゆく日々、そして湖の底に沈んでいるふる
さを描いて
います。

図書室から Book Guide No.254

みずうみにきえた村

ジェーン・ヨーレン・文
バーバラ・クーニー・絵
掛川 恭子・訳

ほるぶ出版
1500円＋税



NPO あかい屋根
特定非営利活動法人 あかい屋根

NPOあかい屋根広報紙

ひまわり

発行: 特定非営利活動法人
あかい屋根 ひまわり編集部
044-976-0444

第 528 号
2020/ 8 / 1

菅生小学校わくわくプラザ
8月いっぱい 蔵敷こども文化センターで実施

小学校プール改修工事のため

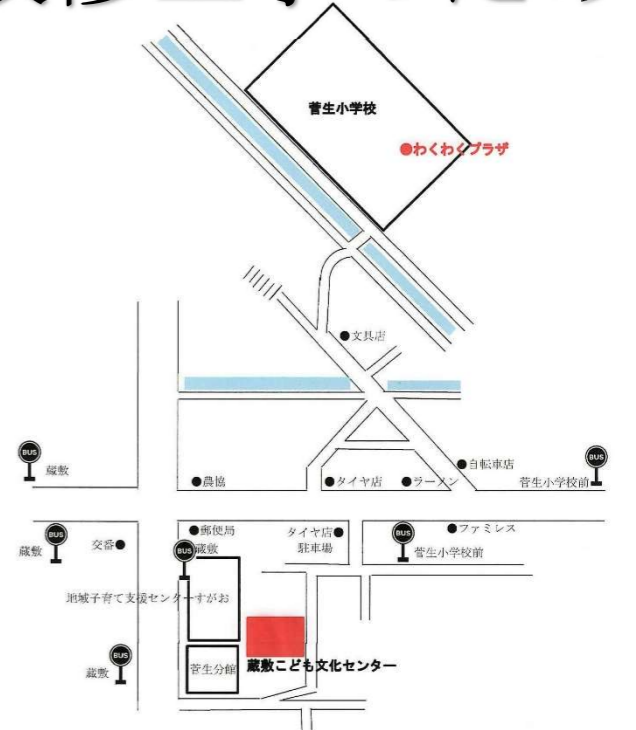
菅生小学校わくわくプラザは、小学校プールの改修工事ため、8月いっぱい、蔵敷こども文化センターで運営します。

菅生小学校わくわくプラザは、プールの前に位置します。プールを改修するにあたって、既存のプールコンクリートを解体するのに1カ月程度必要とのことで、その間道路工事のような騒音が発生し、それに伴う粉塵が舞う恐れがあるとのことです。さらに、その1カ月間の内の一週間は、水道の埋設管切り替えのため、断水が伴うとのことです。

本来なら、児童の安全のため、学校内の教室で実施したいところですが、校舎も改修工事に入っており、プレハブ校舎が校庭を埋め尽くしているという状況です。

さらに、今年度は新型コロナウイルス感染予防による休校措置が取られ、夏休みが短縮されているうえに、夏休み期間中も補習授業が行われるため、学校にも教室でわくわくプラザ事業を実施する余裕は皆無の状況です。

そこで、やむを得ず、蔵敷こども文化センターでわくわくプラザ事業を実施することとなりました。両親が共働きである等の理由で、わくわくプラザを利用している子どもたちは、平均一日で90名前後です。その子たちが蔵敷こども文化センターで過ごすようになると、こども文化センターで遊ぶと思って来館する子どもたちの居場所がなくなります。また、団体利用の方にもご迷惑をかける



こともあるかもしれませんが、近隣の皆様には、子どもたちの声がうるさいことでしょうか。

50年たった菅生小学校を再生させる工事です。どうぞ、地域の大切な財産を守るための工事と、それに伴って派生する問題とご理解いただき、1カ月のイレギュラーが生じますことにご協力をいただきたく存じます。

また、その間、蔵敷交差点から1kmほど離れていて多少距離はございますが、菅生3丁目バス停近くの、菅生こども文化センターをご利用いただければと存じます。こども文化センターは、それぞれ館の作りが違いますので、子どもたちにとって新しい遊びの発見があるかもしれません。

ながい ココアを入れて！ 編集後記 86

◆「もう、ココア入れた?」「お茶にしてみましたけれど・・・」「そうじゃなくて、厚労省のコロナ感染者接触アプリのこと」。本当にあった職員間の会話だ。なんとも紛らわしい名前をつけたものだ。

◆このアプリは、個人が特定されない、国もデータをとらないというプライバシー保護に重点が置かれているという。ただし、このアプリをダウンロードして自分の携帯に取り込むのかは、個々人に任されているのと、もし自分が感染してもこのアプリを通じて報告しなければ何の役にも立たない「個々人の善意」によって成り立っている。

◆このアプリの開発費は4100万円。それだけ税金を投入したのだからもっと国民の協力を仰いでいいと思うのだが、アプリを飲み物のココアと勘違いするほど国民の認知度は低い。もっともっと宣伝して、多くの人に利用してほしいものだ。

◆自分が濃厚接触者だとわかって、コロナ感染予防ができるわけではない。だが、「知る」という意味は大きい。自分から次の人に感染させず、拡散させないという抑止には力を発揮するものではないか。

◆警戒宣言が解除されたといっても、小池都知事の言うように「夜の街」は、いまだに危うい。にもかかわらず、国はサッカーや、野球などの観戦を再開してもいいとしている。クラスターがある限り、感染の波及リスクはあるにもかかわらず、「経済も大

切」と手綱を緩め始めたことによる反動が怖い。5千人集まる中に一人でも感染者がいたら、どうなるのだろうと不安を抱くのは私だけだろうか。経済効果をねらったGo toトラベルも、東京都を外しても拡散させる機会を増やしていると思わざるを得ない。

◆提案なのだが、人が集まる場所には、「ココア」をダウンロードするようお願いして、ダウンロードしていない人は入れないという業者への協力依頼を出したらどうだろう。ホストクラブ、キャバクラはもちろん、居酒屋なども「ココアをダウンロードして安心して飲み会を」と、ダウンロードしていない方は来店お断り。野球観戦者もパチンコ店もテーマパークも、熱を測る、アルコール手指消毒に加えて、アプリのチェックが必要となれば一気にダウンロードする人が増えると思うのだからいいだろう。

◆もう、子どもたちに「学校休業」などあってほしくない。青春を燃やしている青少年から甲子園やインターハイ、全国大会を奪ってほしくない。もう、あの涙は見たくない。そのために大人たちはやれることはやろう。ココアのダウンロードは簡単にできる。今すぐやろう！ まだまだ不要の外出は我慢しよう。医療機関に余裕があるので再度の宣言は出さないといいが、ワクチンがない今、入院はできても、治療は難しいと言わなければならない。自分の命を守ることは、多くの人の命を守ることなのではないか。 統括館長: 針山直幸

**第34回
人形劇まつり**

中止に!!



昨年まで毎年行われていて、第33回を数えた「人形劇まつり」。市民プラザまで足を運べば、様々な人形劇を一日中、心ゆくまで、低廉な入場料で鑑賞でき、毎年楽しみにされていた方もいらっしゃるでしょう。菅生こども文化センターを拠点に活動する「ひまわり人形劇」も第1回からの常連出演団体でした。

残念ながら、新型コロナウイルスの影響で、9月27日に予定されていたものが、実施することができなくなったそうです。来年こそは、実施できるといいですね。

楽しみにされていた方ごめんなさい。
また、いつかお会いできる日を・・・

**こども文化センターは
地域の宝②**



みんなに心待ちにされて完成間近

昭和50年5月17日、菅生こども文化センターのテープは切って落とされました。菅生の内覧会は従前にはないもので、地域の代表者だけでなく、誰もが参加できるものでした。開館セレモニーが



開館式で子どもたちは「民俗芸能」を鑑賞



沸き上がる拍手・歓声、握手を求められる伊藤市長(当時)

実施されている間に地域の人たちや子どもたちは民俗芸能を鑑賞し、その後、市長と子どもたちによる記念植樹が行われ、滞りなく開館式は終了し市長が帰るその時でした。子どもたちから「市長さん、ありがとう」の歓声が沸き上がり、誰となく市長のそばに行き、握手を求める子どもたちが現れたのです。誰が仕組んだわけではなく、自然発生的に子どもたちがとった行動で、大人たちは全く予期していない出来事でした。

子どもたちが、開館をどんなに心待ちにしていたかがえます。市長は今まで選挙のために有権者の多くの方々と握手はしてきたけれど、子どもたちに求められた握手は初めてでとっても嬉しかったそうです。また、開館後に聞いた話ですが、子どもたちは本当に心待ちにして、建設途中のこども文化センターを何度も見に行っていたそうです。

そして、市長さんに感謝の歓声をあげるなどは「純朴さ」を感じます。子どもたちはセンターができた後も、自然の山や、田畑を駆け巡り、疲れるとセンターで休み、また野山に行くという、センターは子どもたちにとって「基地」のようなものでした。時には、野山の戦利品として「青大将」を首に巻き付けてセンターにやってきて、職員を驚かせるのも喜びの一つでした。

8月のおしらせ

新型コロナの感染状況で、変更・中止もあります



044-976-0444

19・26日(水) 14:30~16:30
あそべば 誰でも 無料
19日 タワーボーリング
26日 竹で作ろう!! 水鉄砲(着替え持参)

29日(土) 14:30~16:30
ミニゲームなつまつり(詳細は下記のとおり)

※8月の工作 ひまわりパッチ 誰でも無料
やりたいときにスタッフに言ってください。



044-977-2577

22・29日(土) 14:30~16:30
ぞうさんのポケット 誰でも 無料
22日 シャボンランド
29日 けはい切り選手権
*8月のぞうポケは土曜日開催です。

※1面記載の通り、8月中は菅生小わくわくプラザの運営場所となります。ご注意ください。



な～んにもない夏なんてつまらない! おもいでづくりに!!

ミニゲームなつまつり

菅生こども文化センター ソーシャルディスタンスを意識してのおまつりです。

8月29日(土) 対象:小学生 定員:40名
定員になり次第〆切

14:30~15:30 申込制:受付開始8/11(火)~

※事業の進行により終了時間は遅れる場合があります。

新型コロナウイルスの影響で、こども文化センターのすべての事業が「中止」となっていました。ようやく、「飲食をともなわず、密を回避できるイベントなら可能」という方向が示されました。

しかし、そのようなイベントを考えるのは至難の業で、ようやくたどり着いたのが「ミニゲームなつまつり」です。ソーシャルディスタンスを守りながらのイベントとなりますので、多少窮屈なところも出てきますが、参加者の皆さんの協力のもと、楽しいひと時を一緒に作り上げられたらと思います。

今年は、夏休みも短く、思うように田舎にも帰れないばかりか、遠出も控えなくてはならないかもしれません。子どもたちが楽しみにしている町内会ごとの盆踊りも軒並み中止のようです。

せめて、ささやかな夏の思い出作りにと菅生こども文化センターは奮闘します。蜜を避けるために定員制の申し込みとなりますが、保護者合意のものと参加をお待ちしています。



スマートボール



おかしとり

景品のお菓子は必ず家に持ち帰って食べましょう!!

ダンボールビルダー



フラパン

雨天決行すべて無料